

取組の概要

取組の概要 : ベビーリーフの栽培施設整備
 計画作成主体 : 丹波市地域農業再生協議会
 対象品目 : ベビーリーフ(産地面積:3ha)
 主な取組主体 : 株式会社丹波野菜工房
 成果目標 : 10a当たり販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業(低コスト耐候性ハウス)
 状況

ポイント

ベビーリーフ栽培において経営を安定させるためには、多品種栽培と周年安定供給が必須であることから、低コスト耐候性ハウスを整備し、生産力強化を図る。
 さらに、規模拡大と品質向上を図ることで、10a当たり販売額の10%以上増加を実現する。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H26年度〉

作付面積:2.5ha(出荷数量:77t)
 単収:3,127kg/10a
 10a当たり販売額:275万円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積:3ha(出荷数量:110t)
 単収:3,597kg/10a
 10a当たり販売額:337万円/10a



推進体制

地域の関係者(丹波市、丹波県民局)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 周年出荷を目指した栽培管理、新品種の検討等を実施。
- GLOBAL G.A.P.を取得し、海外展開を目指している。

事業効果

- 低コスト耐候性ハウスの導入により、生産規模の拡大、安定生産・供給や品質が向上。
- 契約販売の拡大及び販売額の向上により、生産者の所得向上とベビーリーフの産地強化を実現。

～ベビーリーフ販売額～
(10a当たり)

